

2023年度立教大学教会音楽研究所

RIKKYO INSTITUTE OF CHURCH MUSIC

夏の教会音楽ワークショップ

2023年8月12日(土)、9月2日(土)

(動画配信、一部対面)

この動画はYoutubeにアップロードされ、今年度中は繰り返しご視聴いただけます。



前奏曲 BWV 552、クラヴィーア・ユーブングIII (1739版)

[プログラム内容]

1. ルターの「教理問答コラール」と

バッハの「クラヴィーア・ユーブング III」の三位一体構造

2. キリスト教の礼拝と詩編

3. 立教学院聖パウロ礼拝堂のフィスクオルガン紹介

↑ 諸般の事情でキャンセルとなりました。申し訳ございません。

4. リードオルガン奏者のための初級修理講座

5. リードオルガン講座

6. 音楽黙想会

～各プログラムの紹介～

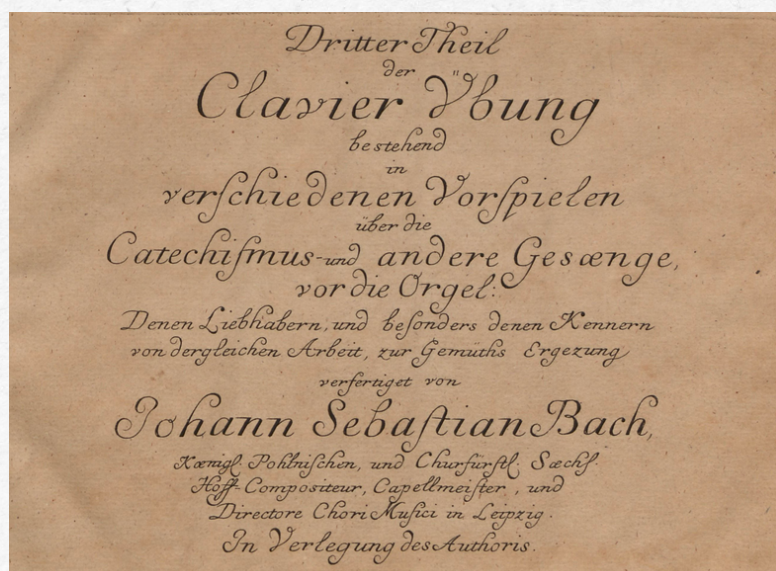
1. ルターの「教理問答コラール」と

バッハの「クラヴィーア・ユーブング III」の三位一体構造
講師：ルター研究会バッハ部門、
ウィルソン・アンドリュー（ルーテル学院大学）、
松本 義宣（ルーテル東京教会）、
ロジャー・ラウザー（コミュニティーアーツ東京）

米国出身のオルガニスト、ロジャー・ラウザー氏、ルター派の牧師・翻訳者の松本義宣氏、そしてルーテル学院大学専任講師であるアンドリュー・ウィルソン氏が、ヨハン・セバスティアン・バッハのオルガン傑作「クラヴィーア・ユーブング III」におけるルター派の教義的な基盤を紹介し、この作品の中心となるいくつかの曲が、伝統的なオルガン建造法で製作されたガルニエ・オルガン（ルーテル学院大学チャペル）で演奏されます。本講座を通して、これらの曲が、マルティン・ルターのコラールに基づいていることを深く理解することができるようになるでしょう。バッハの「クラヴィーア・ユーブング III」は、ライブツィヒがルターの宗教改革を採用したことを記念して作曲されました。バッハはこの作品で、神学的なテーマを音楽に織り込み、音楽家としての能力を最大限に発揮しています。

日時:2023年8月12日(土)12:00 動画配信

定員:制限はありません



2. キリスト教の礼拝と詩編

講師：スコット・ショウ

(立教学院教会音楽ディレクター、立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊長、
立教大学文学部特別専任教授、当研究所副所長)

キリスト教の出現よりも何世紀も前から、詩編はユダヤ人によって歌われていました。ユダヤ人や初期のキリスト教徒にとって、詩編は礼拝のための宗教的な歌のコレクションであり、詩編集には、賛美の歌、嘆きの歌、祝祭の歌など、様々な種類の詩編が含まれています。初期のキリスト教徒は、礼拝だけでなく、日常生活の中でも詩編を歌っていました。また、プロテスタントの宗教改革時にも、詩編の歌唱はキリスト教の礼拝にとって不可欠とされました。常に歌と結びついていた詩編ですが、日本のキリスト教会では、詩編の創造者の意図したように歌うのではなく、読むことが一般的です。このワークショップでは、詩編テキストの基本的な歴史、教会の歴史の中、さまざまな時期にどのように歌われてきたか、そして現代においてこれらのテキストを歌うための実践的な方法について紹介します。

日時：2023年8月12日(土)12:00 動画配信

定員：制限はありません

3. 立教学院聖パウロ礼拝堂のフィスクオルガン紹介

↑ 諸般の事情によりキャンセルとさせていただきます。申し訳ございません。

4. リードオルガン奏者のための初級修理講座

講師：伊藤信夫、伊藤園子、相田 南穂子

(リードオルガン奏者、修復師)

(対面、於・講師宅、後日動画配信)

教会やご家庭のリードオルガンに、音が出ない、ペダルの異音、ストップが戻る、空気持ちが悪い、などの不具合が起こった時、大掛かりな解体をせずに対処できる方法を学びます。ドライバーを持ったことがない初心者の方もご参加いただけます。また、リードオルガンの特徴である「吸い込み式ふいご」の構造を、講師自作の「スケルトンオルガン」を使用してご説明します。

日時：2023年8月18日(金)14:00-16:00

場所：講師私邸(JR山手線目白駅から徒歩6分)

対面開催：10名

動画配信：9月2日(土) 12:00 ※定員の制限はありません

5. リードオルガン講座

「楽しい奏楽奉仕

『日本聖公会聖歌集による聖歌伴奏・アレンジ集7』を用いて」

講師：崎山裕子（立教学院オルガニスト、当研究所所員）

（対面開催8月26日(土)、於・日本基督教団信州教会、後日動画配信）

6月5日に発行されたアレンジ集第7巻を用いて、礼拝で弾くことが楽しみになるような奏楽をご一緒に学びます。ペダル付きの曲を二人で連弾する、短いイントロを間奏に利用する、など色々なことを試して一緒に賛美しましょう。

日時：2023年8月26日(土)13:00-14:30

場所：日本基督教団 信州教会(JR長野駅から徒歩10分)

課題楽譜：『日本聖公会聖歌集による聖歌伴奏・アレンジ集7』

対面開催：50名

動画配信：9月2日(土)12:00 ※定員の制限はありません

※この講座は、日本基督教団信州教会のご協力とご厚意により、会場費無料で行われます。

※課題の楽譜は、対面開催の当日、輸入楽譜GAUDEAMUSが出店し、信州教会でご購入いただけます。他にもリードオルガンで奏楽に用いることができる楽譜が並びます。対面で参加される方は是非、8月26日にご購入ください。

※動画配信をご希望の方は、配信日の9月2日までにGAUDEAMUSのメールアドレスinfo@gaudeamusic.comで、課題楽譜のご注文、ご購入をお願いいたします。

6. 音楽黙想会

講師：上田亜樹子（日本聖公会東京教区月島聖公会牧師）、
崎山裕子（立教学院オルガニスト、当研究所所員）

（対面開催8月26日(土)、於・日本基督教団信州教会、後日動画配信）

「預言者ミリアム一神は何を求めておられるのか？」

聖書には「家」の管理下にあった女性が多く登場しますが、その実像はなかなか伝わってきません。民数記の時代に生きたミリアムの物語から、神に仕える真のリーダーシップを学び、現代の私たちが抱える「生きにくさ」への示唆を得る黙想のひとつを持ちたいと思います。

日時：2023年8月26日(土)15:00-16:30

場所：日本基督教団 信州教会（JR長野駅から徒歩10分）

対面開催：50名

動画配信：9月2日(土) 12:00

※定員の制限はありません

※この講座は、日本基督教団信州教会のご協力とご厚意により、
会場費無料で行われます。

参加方法について

参加費:

1つの講座の参加費(一部対面)

一般 3,000円 学生 1,500円

全講座を聴講(一部対面)する参加費

一般 10,000円 学生 5,000円

→9,000円 →4,500円

申し込み方法:

立教大学教会音楽研究所のメールアドレスmusic@rikkyo.ac.jpへ、
件名に「夏の教会音楽ワークショップ」と書いて、お申し込みください。
(申込期間 7/1(土)~7/20(木)15:00)。

参加費のご入金方法については、追ってメールの返信でご説明します。
申込期間後の受付はできませんのでご注意ください。

立教大学教会音楽研究所

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

Tel, Fax; 03-3985-2786

E-mail;music@rikkyo.ac.jp

※不在が多いので、メール又は Fax で お申し込み方法 のお問い合わせをお願いいたします。

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/icm/>
